

第2節 長崎県の財政のしくみとはたらき



1 歳入のいろいろ

長崎県の歳入の総額は、7,348億円（令和6年度当初予算）である。

歳入は、大きく分けると、国からの補助や県の借金など、他に依存している財源と、県税などの自主財源の二つに分けることができる。

国などへの依存財源は、歳入全体の60.0%（令和6年度予算）で、全国平均の約48%（令和2年度決算）よりも高い比率をしめている。

その中で、一番大きな比率をしめるのは、地方交付税交付金で、31.6%である。これは、地方公共団体が全国どこでも同じような行政サービスが受けられるよう地方の財政の状況により、国から配分されるものである。

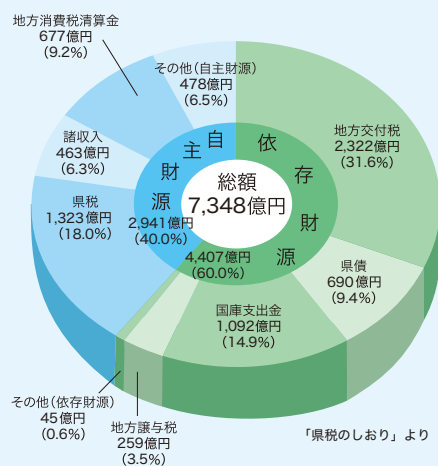
国庫支出金は、14.9%をしめ、国と協力しておこなう社会保障、教育、公共事業などの費用として国から補助されるお金である。また、県の借金である県債は9.4%である。これらの依存財源の歳入に対する比率は高い状態が続いている。

次に自主財源は、県歳入全体の40.0%で、全国的にも低い県の一つである。

自主財源の中では、県税が45.0%をしめており、使い道も自由であるため、とても大切な財源である。

うちわけて多いものは、県民税と事業税で、あわせると県税全体の52.4%をしめる。県民税には、県内に住んでいる人や会社が所得などに応じて納めるもののほか、銀行などの預金利息にかかる税金などがある。事業税は、県内で事業を営んでいる個人が納める個人事業税と会社が納める法人事業税とがある。

このほか県税には、自動車をもっている人が納める自動車税、物



長崎県の歳入（令和6年度当初予算）

MEMO

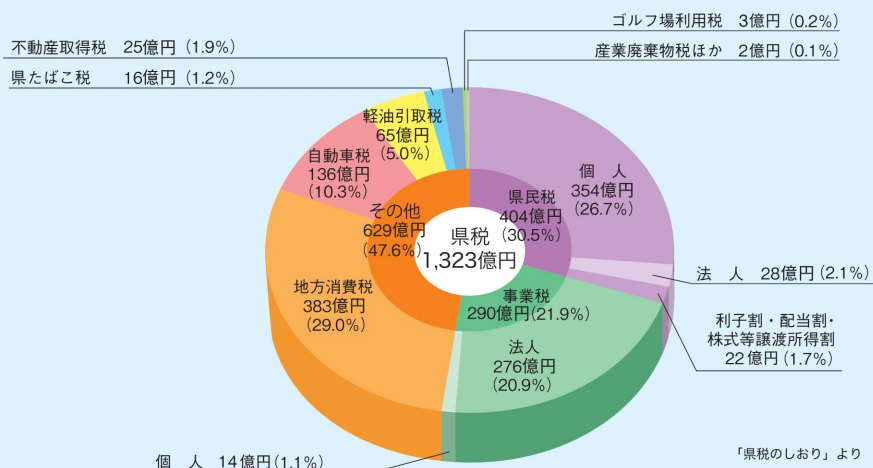
みんなで考えてみよう！

自主財源と依存財源のちがいを説明してみよう。

MEMO

みんなで考えてみよう!

税金には消費税の他に
どんな種類があるか調
べてみよう。



長崎県の税収入のうちわけ (令和6年度当初予算)

を買ったりした人が納める地方消費税、軽油を買ったときに納める軽油引取税などがある。また、2005(平成17)年度からはリサイクルを進めるため、新たにごみを処分してもらうときに納める産業廃棄物税を追加した。

長崎県の歳入予算における問題点は、自主財源の割合が低く、県が自由に使えるお金が少ないことである。

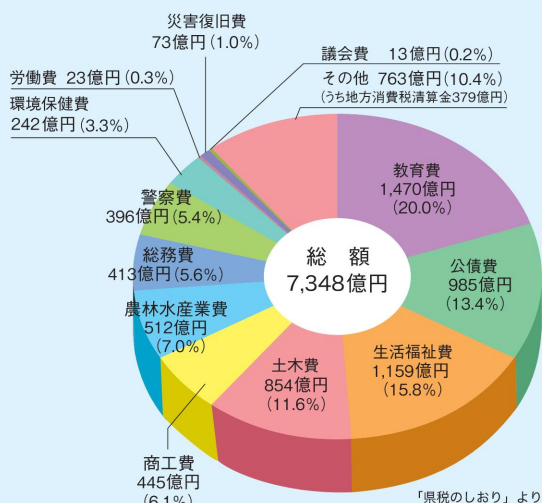


2 歳出のいろいろ

長崎県の歳出の総額は、7,348億円(令和6年度当初予算)である。

歳出総額を県民一人当たり直すと、約562,600円になる。その中で、教育費と生活福祉費の両方で35.8%になる。教育費は、学校教育や社会教育、スポーツや文化の振興などのために、生活福祉費は、お年寄りや体の不自由な方を支援するために使われている。

農林水産業費は7.0%をしめている。これは、長崎県の重要な産業である農業や漁業をもっと盛んにしたり、新しい方法を開発したりするため、総合農林試験場や果樹試験場での品種改良、水産試験

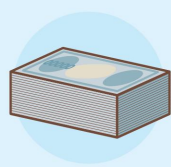


長崎県の歳出 (令和6年度当初予算)

MEMO

みんなで考えてみよう!

税金と私たちの生活にはどんな関わりがあるか考えてみよう。

公債費
75,400円教育費
112,600円土木費
65,400円農林水産業費
39,200円生活福祉費
88,700円商工費
34,100円警察費
30,300円総務費
31,600円環境保健費
18,500円その他労働費等
66,700円

「県税のしおり」より

県民一人当たりの支出額 (令和6年度当初予算)

場での^{ようしよく}養殖・^{さいばい}栽培漁業の研究などに使われるお金である。

また、^{こうさいひ}公債費が、13.4%をしめている。これは、県の借金を返すお金である。これが増えると、いろいろな仕事ができなくなってくるので、増やさないようにする努力が必要である。

そのほか、道路や河川、港や空港などを整備するための土木費や、安全を守るための警察費などがある。

このように、予算は、私たちの生活に関係の深い仕事のために使われている。

100の指標から見た「長崎県の暮らしやすさ」

長崎県県民生活部統計課

△：全国順位が上位の指標 ▼：同下位の指標

(-)の指標は数字が小さいほど良い指標(順位も小さい順で記載)

※個別指標は主なものを記載

(H27.7)

1. 快適で便利に生活できるまち 12指標

△快適な気候(30年平均) ……………	5位
(真夏日と冬日以外の日数)	
△各種小売り店数(人口10万人比) ……………	7位
△家賃(1畳当たり)(-) ……………	10位
▼公共交通の便利さ ……………	26位
(総人口に占める公共交通空白地人口割合)(-)	

区分での順位
9位

2. きれいな環境を保つまち 9指標

△空気のきれいさ ……………	1位
△県土に占める自然公園面積割合 ……………	17位
△公害苦情処理件数 ……………	23位
(人口10万人比)(-)	
▼ごみ排出量(1人当たり)(-) ……………	26位

区分での順位
11位

3. 働きやすいまち 11指標

▼総労働時間(-) ……………	24位
▼通勤時間(-) ……………	26位
▼就業地別有効求人倍率 ……………	34位
▼賃金水準 ……………	39位

区分での順位
22位

4. 学びやすいまち 10指標

△学校のパソコン設置台数 (パソコン1台あたりの生徒児童数)(-) ……………	3位
△教育費(-) ……………	9位
△大学数(人口10万人比) ……………	11位
△児童生徒と教員のふれあい ……………	12位
(教員1人あたりの児童生徒数)(-)	

区分での順位
1位

5. 子育てしやすいまち 11指標

△合計特殊出生数 ……………	3位
△延長保育実施施設数 ……………	3位
(対象世帯千世帯比)	
△障害児通所施設数 ……………	5位
(18歳未満人口1万人比)	
△小児科医師数 ……………	22位
(15歳未満人口10万人比)	

区分での順位
6位

6. 女性が活躍しやすいまち 9指標

△管理職の女性割合 ……………	6位
△自治会長に占める女性の割合 ……………	19位
△女性の就業率 ……………	20位
△起業者に占める女性の割合 ……………	22位

区分での順位
13位

7. 高齢者にやさしいまち 11指標

△高齢者のボランティア活動 ……………	2位
△介護老人福祉施設数 ……………	7位
(65歳以上人口10万人比)	
△デイサービス施設数 ……………	10位
(65歳以上人口10万人比)	
△老人クラブ加入率 ……………	15位
(60歳以上人口比)	

区分での順位
2位

8. 多様なくらしができるまち 8指標

△余暇時間 ……………	5位
△外国との交流が盛ん(姉妹都市提携数 (自治体数比)) ……………	7位
△観光レクリエーション施設数 ……………	18位
(キャンプ場、海水浴場等(人口10万人比))	
△博物館や美術館などの数 ……………	20位
(人口100万人比)	

区分での順位
7位

9. 健康に暮らせるまち 10指標

△診療所数(人口10万人比) ……………	3位
△薬局数(人口10万人比) ……………	5位
△医師数(人口10万人比) ……………	8位
△多目的運動広場数 ……………	10位
(人口100万人比)	

区分での順位
2位

10. 安全で安心できるまち 9指標

△犯罪発生率(人口10万人比)(-) ……………	3位
△地震発生率(-) ……………	6位
△消防団員数(人口10万人比) ……………	14位
▼平均緊急搬送時間(-) ……………	30位

区分での順位
6位

◆総合順位 1位

100の指標をそれぞれ1位=47点, 47位=1点に得点化し, 合計得点により順位付けした場合